H-TEC TIMES
Honda Technical College Kansai

学校法人ホンダ学園
ホンダ テクニカル カレッジ 関西
（旧校名　ホンダ関西自動車整備専門学校）

発行責任者
校長　六角屋 雷太

〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
TEL:072-366-9011　FAX:072-360-2230

ホームページ・ケータイ サイト
http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/
QRコード対応 ケータイで簡単アクセス!

創立30周年記念学園祭 ありがとう30年 楽しもう！未来

創30学園祭

ホンダ学園創立30周年を迎え、「ありがとう30年 楽しもう！未来」のキャッチフレーズで創立30周年イベントを、例年12月に行われていた学園祭と併せて9月9日に開催しました。

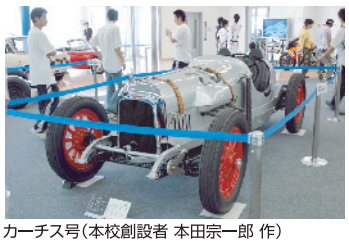
ASIMOショー
～ASIMOと暮らす近い未来～

ASIMOがH-TECに登場

ASIMOを見たのは2回目ですが、創30学園祭で見たASIMOは、以前私が見た時よりも更に成長していました。ASIMOと子供がサッカーやダンスをしたり、会話もスムーズにこなすようになっていました。中でも、ASIMOが郵便物の受け取りをしている場面があり、ASIMOと暮らす近い未来を見て、そんな素晴らしい日が来るんだなと感動しました。

（自動車整備科　2年6組　市橋賢治）

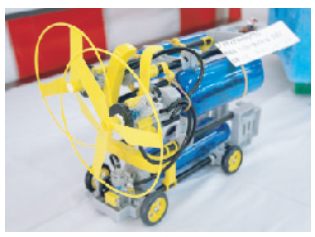
H-TECコレクションホール
～変わらぬ美しさと輝き～


カーチス号（本校創設者 本田宗一郎 作）

私は、車両が学園内に運搬される所を見つけました。大きなトラックの扉が開き中から出てきた車両は、雑誌でしか見た事のない凄いマシンがばかりでした。そしてその変わらない美しさ、輝きに心が踊りました。数多くの特別な車両が見れて満足な創30学園祭でした。

（自動車ビジネス科　2年1組　吉田憲史）

エア・エンジン・コンテスト
～きっちり組む事の大切さ～


ユニークなエア・エンジンも登場

面白そうな大会があると聞いて、オープンクラスに応募しましたが、改造など初めての事で全く分かりません。ですので、とりあえずきちんと組む事だけを考えて作りました。するとノーマルなのに、オープンクラスで2位になれました。やはり「組み」の大切さは、いつも整備している車も、玩具の車も変わらないと思いました。

（自動車ビジネス科　2年1組　増田恭平）

夢・発見トークショー
～F1メカニックという夢～

H-TEC卒業生で現在F1メカニックの吉野さん（左）

私の小さい頃の夢はF1メカニックでしたが、工学系の大学院を出た人でないと難しいと聞いていたので、夢が「なればいいかな」という所まで下がっていました。しかし、この講演でH-TECからでもなれる事が分かり、自分の努力次第だと気付きました。これからはF1メカニックを進路の選択肢の中に入れて考えます。「夢を現実へ」この言葉を胸に頑張ります。

（自動車整備科　1年1組　越山尚登）

その他イベント

F1エンジン始動。Hondaサウンドが響く

学園祭の名物やきそば。昼には完売でした

自動車研究開発科 いよいよ始動！

自動車研究開発科
1年1組
柴野 裕司

～ライバル調査、目指すは1位～

私達自動車研究開発科の学生は、静岡県の小笠山総合運動公園で行われた全日本学生フォーミュラス大会の見学に行きました。この大会は、学生がフォーミュラスタイルの車を製作し、もの作りの総合力を競う大会です。初日は、車両の安全・設計要件を確認する車検。製造コストや技術・工夫を評価するコスト・デザイン審査。開発車両を売り込むという設定で行うプレゼンテーションが行われました。2日目には、8の字コースを走行しタイムを競うスキッドパッド。直線・ターン・スラロームなどがあるコースを1周走行しタイムを競うオートクロスなどが行われました。三日目には、コースを逆方向に11周走行し、タイムを競うエンデュランスが行われました。私達は、様々なチームを調査しましたが、どのチームも協力的で、貴重な情報を手に入れる事が出来ました。この大会には来年度参加する予定ですが、正直こんなレベルの高い大会だとは思っていなかったので、不安より危機感が出てきました。しかし、参加するからには上位入賞とは言わず、1位を目指し努力を惜しまず頑張っていきたいと思います。

姉妹校のホンダ テクニカル カレッジ 関東も調査

創30 未来への提言コンテスト「最優秀賞作品」発表!!

創立30周年を記念し、20年後、30年後の未来を想像したレポートを学生達から募集。多数集まった作品の中から、最優秀賞作品を紹介します。

自動車整備科
2年3組
松隈 昌平

～拝啓、宗一郎様～

連日40℃以上の暑さが続いています。宗一郎さんのいる天国は過ごしやすい事でしょうね。今日は、2026年8月24日です。今家族と一緒に南極旅行に来ています。宗一郎さんは信じられないかもしれませんが、南極は今、一番人気の旅行スポットなんですよ。

宗一郎さんが天国へ逝って45年になりますが、この間地球温暖化の影響で地球の平均気温は5℃上昇し、北極、南極の氷が溶けて海面は50cm高くなりました。私は今遅めの夏休みを南極で過ごしています。子供達は生まれて初めて見る雪に感動していますし、私も数十年ぶりのスキーを楽しんでいます。驚かれるかもしれませんが、今の私は日本人ではなくなりました。温暖化の影響で地球上の陸地のおよそ30%が海に沈みました。また異常気象の影響で世界的な食糧不足に陥り一時は世界中で戦争が起こるかに思われました。

しかし、世界中の国々の代表者が集まり、この危機に力を合わせて立ち向かう事を決めて地球が1つの国家となったのです。今はこの地球上に国境というものはありません。でもこのことをきっかけにCO2削減のために個人が自動車を持つ事は禁止されてしまい、Hondaをはじめ世界中の自動車メーカーは倒産の危機に瀕しました。その中でHondaが世界で初めて燃料電池自動車の量産化に成功し、再び個人が車を楽しむ事ができるようになりました。実は私もこのプロジェクトに参加しました。

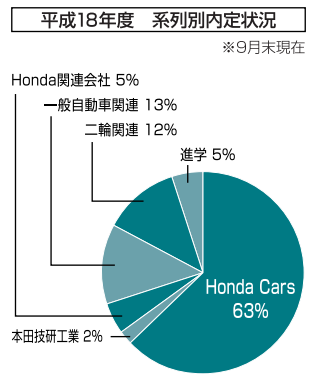
温暖化問題は一段落しましたが、今、石油燃料の枯渇という新たな問題が出てきています。私は今、燃料電池自動車に変わる高性能高出力のソーラーカーの開発に取り組んでいます。3年後に市販化できるように頑張っています。

宗一郎さん、これからもHondaのチャレンジを見守っていて下さい。

就職活動状況

～2年生の内定率 昨年を上回る99%～

今年度は各販売会社様に絶大なご支援を頂き、9月末時点で99%の内定率（昨年同時期は89%）となっています。今後は学生一人一人に対して極め細やかなフォローと、最新情報の提供で個人レベルのUPを計り、早期の内定100%を目指していきます。



～1年生の就職活動スタート～

1年生も10月に「進路説明会」、11月に「企業説明会」と内部イベントを経て、12月15日にメインイベントの「賛助会企業セミナー」を開催します。学生は昨今の採用試験の早期化に対応する為に、入学時から慣れるよう取り組んでおります。各販売会社様・保護者の皆様には引き続きご支援・ご協力をお願いし、更に「自己分析」をしっかりして、販売会社様から期待される人材の育成に努めていきます。

2年生 企業実習
～失敗を恐れずにチャレンジ～

内定先企業で初めての実践作業を経験（7/20～29 実施）

お客様の車を取り扱うのは、実習車両と違い緊張感がありました。洗車をするたびに失敗しそうで怖かったです。しかし、失敗を恐れずチャレンジしていくうちに、もし失敗したとしても次の作業に活かせるように努力する事で、失敗が成功に繋がる事を改めて学びました。僕はまだまだ未熟ですが、失敗を恐れずにチャレンジする事で、入社するまでに土台となる基礎をしっかり作っていきたいと思います。

（自動車整備科　2年4組　川畑賢吾）

新任のあいさつ

教務部
杉山 正治

10月1日付で、教務部企画課に着任しました杉山正治です。サービスが好きで、昭和48年にHonda SFに入社しました。H-TECに来て、一番に感じたことは、学生の皆さんが元気で感じの良い挨拶が出来ている事でした。これからは、学生の皆さんと共に、何事に対しても頑張って行きたいと思っています。

教務部
中林 昭雄

10月より教務部企画課に参りました。H-TECには10年振りに戻ってきましたが、学校の様子が大きく変わっていてびっくりしています。この10年間には、ディーラーでの新車販売や、Hondaでのアフターマーケット営業を経験してきました。この経験を活かし、皆さんと頑張っていきたいと思っております。

教務部
山口 広之

10月1日付で、Honda R&D 栃木研究所電装機能開発から教務部企画課に着任しました。私は、学ぶことも開発の現場と同じで、人と人との繋がりが大切だと思います。努力の後の達成感を求めて一人各々が楽しく、そしてクラスの皆が助け合いながら勉強できる学びの場を、皆さんと一緒に創っていきたいと思います。

事務学生部
大石 達雄

9月1日付けで二輪開発センター（HGA）会計課から事務学生部へ着任しました大石です。高校時代に知ったオートバイの楽しさが忘れられず、昭和46年に本田技研浜松製作所に入社しました。

学生の皆さんとの触れ合いは、主に事務室になると思いますが、早く学園に慣れ、皆さんと共に学園生活を楽しみたいと思います。

英語講師
ジェームズ・バレット

こんにちわ！ジェームズです。英語講師として参りました。学生達に英語を教えている体験から、H-TECの「生徒の夢を実現する」という姿勢に非常に感銘を受けました。英語の習得には多くの方が苦労していると思いますが、技術・就職・そしてレジャーなど、世界のどこでも使え、人生の役に立つ英語を身に付けれるように一緒に頑張っていきたいです！

ホンダ学園 体育祭
H-TEC 体育祭 2006
見せろホンダスピリット

総合優勝 2年3組

自動車整備科 2年3組 中川 朝貴

～皆で勝ち取った優勝～

今大会は、2年生にとって学生生活最後の体育祭。良い思い出を作りたいと思い、全力で参加しました。

2位とは常に接戦で、点差はほんの僅かでしたが、この接戦がクラス全員を熱くし、クラスを一丸にしていきました。そして、念願の優勝を皆で勝ち取ることが出来ました。

競い合う事のできるライバル達や、力を合わせる事のできる仲間達のおかげで、私にとって体育祭は、最高の思い出となりました。また、クラスの皆にとっても最高の思い出になったのではないかと思います。

割れんばかりのかけ声が響いた迫力の綱引き

2年3組の皆、優勝おめでとう!

後援会会長賞 個人

自動車整備科 1年6組 北村 美穂

～夢中でこぎました!～

私は、グラウンド6週を4人で走る、ミニ自転車レースに参加しました。滑稽な姿からは想像できないほど大変で過酷なレースです。走り終えた誰もが息を切らせてその場に崩れていました。私は、自転車を引継いで仲間の瞳を見た時「やらなくては!」と思い夢中でこぎました。気が付くと何人もの男子生徒を抜き去っていました。私が頑張れたのも真剣にレースに取り組む仲間達がいたおかげです。

なみいる男子生徒をごぼう抜き

体育祭 W実行委員長

自動車整備科 2年6組 阿草 邦之

自動車整備科 2年5組 井上 憲一

～やり遂げた達成感～

私達は、毎日学校に残り体育祭の準備や段取りをしてきましたが、いざ体育祭が始まると、時間配分や準備に手間取り進行が遅れてしまいました。皆さんには迷惑をかけてしまったと思っています。しかし、たくさんの先生方や仲間達に助けられ、午後からは順調に進みました。ミニ自転車レースや騎馬戦では2年生の実況なども入り、とても盛り上がりました。競技に参加した人も見ていた人も満足できる結果になったと思います。

最初は、気が進まず始めた実行委員長でしたが、やり遂げたという達成感が得られたので、今では委員長ができた事を光栄に思っています。

2年生の実況も加わり白熱した騎馬戦

People Close Up!

「鈴鹿8耐」はチェッカーフラッグを受けるも完走扱いにはならず、残念な結果に終った。8耐が終った今、二輪整備同好会の橋本君に率直な感想を聞いてみた。

自動車整備科 2年5組 橋本 恵太

◆鈴鹿8耐での担当は?

車両担当として、ピットイン作業ではリアタイヤの交換を担当していました。

◆残念ながら完走にはなりませんでしたが、見事チェッカーフラッグを切った感想は?

転倒による車両へのダメージは大きかったのですが、チームの皆が一丸となって修復作業に徹し、再出走できて本当に良かったです。記録では完走扱いになりませんでしたが、チェッカーを受けた瞬間は本当に感動しました。

◆アクシデント等もありましたが、鈴鹿8耐を通して得たことは?

レースの現場でのシビアな時間管理や妥協を一切許さないプロメカニックの仕事を勉強する事が出来ました。整備作業以外にもレース活動の準備やチームワークの作り方、ミーティングの進め方、書類作成など普段の学校生活では経験出来ない事がたくさん出来ました。

◆来年8耐に参加する後輩にアドバイスをお願いします。

なるべく早い時期から8耐を意識した活動を始め、整備作業のレベルをより一層高めた上で、8耐に挑めれば良いと思います。チームワークを大切に頑張って下さい。

◆鈴鹿8耐を振り返ってみて率直な感想をお願いします。

鈴鹿8耐を目標として1年間活動を続けてきて、大変で苦しい事もありましたが、たくさんの経験やレース活動を通じて視野も広がりました。学生の間にこの様な貴重な経験が出来たのもスポンサー様、レーシングデザインの方、先生方を始めとする皆様の協力があったからだと本当に感謝しています。本当にありがとうございました。

8耐決勝レースでまさかの転倒。時間と戦いながらの修復作業

野球同好会

～優勝!7対1 打線爆発～

大阪狭山市軟式野球大会を優勝という結果で終える事ができ、とても嬉しかったです。改めてチームワークの凄さと大切さを実感しました。

この大会の優勝で、今年の11月3日から大阪府の大会に大阪狭山市代表として出場する事になります。「チャレンジャー精神」「全力プレー」の2つを心に刻み込み、頑張っていきたいと思います。

（自動車整備科 2年3組 高居良太）

三振に抑え打線爆発に導く

オフロード同好会

～互いが互いのために～

9月3日、「全日本モトクロス選手権」にチームハマーのサポートとして参加しました。ライダーがレースだけに集中できるようにスタッフは食事やマシンの整備などをし、ライダーはその間出来るだけ集中力を高めレースに挑む。スタッフは選手のために、選手はスタッフのために、みんなが一つになってレースをしているんだなと感じました。

（自動車ビジネス科 2年1組 森脇大晴）

チームハマーの高濱選手

エコラン同好会

～全盛期の連勝を目指す～

10月1日に開催された、Hondaエコノパワー全国大会に出場しました。決勝前夜には遅くまで作戦を立て、H-TECとして負けられないという気持ちでレースに挑みました。その結果、ほぼ全てのマシンが100㎞/ℓ記録が伸び、昨年より良い結果を残す事が出来ました。これからも全盛期の連勝を目指して努力していきます。

（自動車ビジネス科 2年1組 山口修平）

H-TECとして負けられない

EV・エコチャレンジ同好会

～100点満点の結果～

エコ・チャレンジ同好会は、8月末に徳島で開催された四国EVラリーに参加しました。この大会は、昨年の同好会立ち上げ時からずっと目標にしてきたレースです。分からない事や部員全員戸惑いも多かったのですが、目標としていたポイント数を大きく上回り、初参加では100点満点の結果だったと思います。

（自動車整備科 2年2組 山村恒平）

緊張のスタート

サイクルスポーツ同好会

～サーキットを走る爽快感!～

鈴鹿サーキットで行われた「シマノスズカローレース」に出場しました。スタート前の緊張感、他の選手との駆け引き、サーキットを走る爽快感など、日常では味わえない体験が出来ました。

（自動車整備科 2年1組 竹村直人）

憧れの鈴鹿に挑む

レストア同好会

～シビックで校庭を走るぞ!～

廃車同然のシビックを、先生や先輩に色々教えてもらいながら作業を進めて、手作りで完成させました。今後はエンジンを車体に乗せて、校庭を走り回る事を目標に頑張ります。

（自動車整備科 1年2組 松田博亘）

創30学園祭 展示場前にて

New Zealand

～ニュージーランドに来て半年～

ニュージーランドでの生活にもだいぶ慣れてきました。こちらでの生活もまだ英語を話す事はほとんど出来ませんが、職場の人たちや友達の話す英語を聞くことは少しずつ出来るようになってきていると思います。休日などは職場の人と遊びに行ったり、友達とサッカーなどをして、ここでの生活をとても楽しく過ごしています。

ただ、今は相手が話している事を聞いて相槌をうつだけで、なかなかコミュニケーションが取れていないので、これからは聞いた話をしっかり理解し、それらに対する自分の意見が言えるよう努力していきます。

仕事はというと、まだミスばかりで職場の人には迷惑をかけてばかりですが、定期点検などの仕事には慣れてきました。バルブクリアランスなど、回数を重ねるごとにスムーズに作業出来ている気がします。この生活も残り少ないですがこれからも今まで以上に頑張ります。

（自動車整備科 2年 坂田徹）

仕事現場にて車の修理中（写真右 坂田君）

坂田君が参加するサッカーチーム

いつも頼りになる職場のキースさん

日本語が話せるスティーブンさん

ホームステイ先の家族とスキー場へ（写真中央 坂田君）

これからのスケジュール

11月	12月	1月	2月	3月
●海外研修旅行／2年生（6～13日） ●第4回 入学選考（11日） ●Hondaの技術「夜間走行安全装置」（22日） ●鈴鹿安全運転講習／1年生（27～12月1日）	●ビジネス能力検定（3日） ●鈴鹿安全運転講習／1年生（4～8日） ●損害保険募集人資格（6日） ●中古車査定士（13日） ●第5回 入学選考（16日） ●Hondaの技術「ZEST」（20日） ●冬休み（28～1月9日）	●Hondaの技術「J-OBD」（17日）	●危険物取扱者試験（12日） ●第6回 入学選考（23日） ●Hondaサービスエンジニア認定試験	●終業式（14日） ●卒業式（16日） ●自動車整備士試験[登録試験]（25日）

退任のあいさつ

事務学生部 藤原 栄一

「光陰矢の如し」と申しますが、Hondaに入社して40年が過ぎました。国内営業の様々な部門の経験を経て、最終の職場がH-TECとなりました。H-TECでは、学生の就職担当として、お世話になりました。学生の将来に関わる仕事で、緊張感のある毎日でした。多くの方々のお陰で、5年間就職内定100%を維持できた事が大きな喜びでした。今後とも、オールホンダへ安定した人材を供給出来る学校であって欲しいと願っております。

自動車整備科 村上 耕三

私が平成8年4月にH-TECへ赴任してきて、10年と6ヶ月が経ち、その中で皆さんと共に学んできました。学生諸君、学園ライフを楽しんで下さい。そして学んで下さい。より多くの事を体験して社会人としてのルール、マナーを身に付けて、企業で信頼される人間性を養って下さい。それが自分の目指す第一歩だと思います。私は残り少ない人生を、自分の新たな夢を抱いて進みます。最後に学生諸君、輝かしい未来を期待しています。

転任のあいさつ

事務学生部 小野 多津子

10月1日付けで、ホンダテクニカルカレッジ法人本部に転任になりました小野です。入社以来たくさんの方と触れ合えた事が私の人生を豊かなものにしてくれたと思っております。

学生の皆さんもこの学校での人との触れ合いを大切にして下さい。そして、好奇心を持って相手を見て会話をして下さい。人の嫌なところばかりを見るのではなく、触れ合う事で良い所も発見できるはずです。これからの人生、たくさんの人との出会いを大切にし、夢の実現に向けて楽しんで下さい。

編集後記

今年はホンダ学園創立30周年という節目にあたり、創立30周年記念学園祭が盛大に開催されました。また、学生主体で開催された体育祭も無事終了しました。今後、2年生は海外研修旅行、1年生は就職活動に向けて本格的に活動を開始していきます。これらの活動も本紙やホームページを通じてお伝えしていきたいと思います。

H-TEC TIMES編集委員